

IBmaga

こんにちは！札幌日大高校国際バカロレアコース（IB）です。
毎月、私たちの活動を発信していきます！

今月のトピック

- ・2025年度 新入生
- ・新入生歓迎会
- ・IB Officeについて
- ・CASについて
- ・1年生宿泊研修
- ・授業紹介



2025年度 新入生

新一年生8人（男子が2人、女子が6人）が今年新たなIB生として本校に入学しました。

まさに少数精鋭。

個性のかつやる気あふれる後輩の登場で、IBの2年生・3年生もとても刺激を受けています。

少人数クラスでは質問の場・発表の場・コミュニケーションの場が十分に提供され、

退屈することのない学校生活を送れることは間違いないでしょう。

新一年生はすぐにIBのカリキュラムを始めず、まずは高校の卒業資格を取るために、一般的な日本教育を行います。（～2025/01）

IBの学習が本格化するまでにしっかりと学習習慣を身につけられると良いですね。



新入生歓迎会



4月15日、IBの二年生を中心で新入生歓迎会を行いました。

会場はN Link という、

まだ建てられて2年しかたない大規模ホールでした。

内容としては、教科の説明・勉強の仕方・注意事項などです。

まだ入学したての新1年生にはIBへの

モチベーションアップが見込める有意義な時間だったと思います。

二年生と三年生のIB生もこの企画をきっかけに新一年生と

会話を交わしている様子が確認でき、楽しんでくれました。

たくさんの先生方もご覧になっており、大変好評を頂きました。

IB Office

本校には、IB OfficeというIB生限定の自習・休憩空間があります。

IB生は時間割の中で、大学生のように受ける教科と受けない教科があります。

なので「○時間目の授業がない」ということは日常的に起こります。

そのような時に使われるのがIB Officeです。

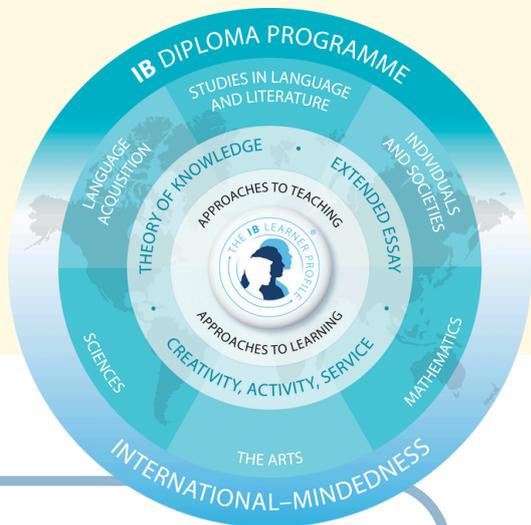
各自自習復習を行ったり、課題を行ったり、本を読んだりしています。

そのほかにも放課後・休み時間などにも使用されIB生の憩いの場になっています。





CAS紹介



CASとは？

皆さんはIBのCore(核)と呼ばれる科目のひとつ、「CAS」という活動を知っていますか？

CASとは「創造性(Creativity):自分のアイデアや独創性に基づいた作品やパフォーマンスの創造」、「活動(Activity):健康的なライフスタイルのための身体活動」、「奉仕(Service):他者と協同したボランティア等の奉仕活動」の3つの要素から構成されています。

CASの最も大きな特徴は「将来の夢と関連させたり、自分の強みを活かせるような活動を自ら提案・実行できる」という点です。その中で出てくる課題への対処方法や他者との協同の仕方を学校の勉強だけで身につけるのは難しいですね。

これから大人になって社会に出た時に1番必要になる力を鍛えることができる、それがIB core科目、「CAS」なのです。

では、CASは具体的に何をするのでしょうか。

基本的には企画→提案→実行→振り返り→報告の流れで行います。

特にCASの活動では、提案書、報告書を作成し、残すことが決まりとなっています。実際に作成する際は、テンプレートに合わせて、スーパーバイザー（管理者）の設定や、どの観点で特に振り返りを行うのかについてなどを記載します。

そして、それらの資料は、校内の担当の先生への提出や、実際にIBのスコアを取る際にも、特に重要なので注意して作成しています。

また、すべての活動がCASになるわけではないのも注意点です。「創造性・活動・奉仕」という要素に当てはまる活動でなければいけません。例えば、何かのイベントに参加する際も、参加するだけでなく、そこで自分だからこその工夫を行なっています。」

その点に関して、次に実際の生徒のCASを見てみましょう！

高校生視点から地域活動に貢献
札幌日大高校国際ハカロ
レアコースの2年

4人が取り組む国際ハカロレアコース
札幌日大高校の2年生で、国際ハカロレアコースに所属する4人が、国際ハカロレアコースの活動についてインタビューを受けた。国際ハカロレアコースは、国際社会で活躍するために必要なスキルを身につけることを目的として、英語力向上、異文化理解、リーダーシップ育成などを重視している。4人は、このコースを通じて、地域社会への貢献や、国際的な視野の拡大に取り組んでいる。

社会問題について考え行動したい

3月に開催された国際会議
3月に開催された国際会議で、4人は、持続可能な開発目標(SDGs)に関する議論に参加した。会議では、SDGsの達成に向けた取り組みや、国際的な協力の重要性が議論された。4人は、この機会を通じて、国際社会の現状や課題を学び、自分たちがどのように貢献できるかを考えるきっかけとなった。

国際会議の様子

国際会議の様子

サステナブル・ブランド 広報誌取材



最初に、北広島広報5月号の取材について紹介します。4月10日（水）の放課後に、北広島市の広報課の方が本校に訪問され、IB Officeでサステナブル・ブランド国際会議についての取材を行いました。

今回の取材に参加した4人も、CASの活動としてそれぞれ目標を立てて参加しました。また他にも、これまでの活動についてはスライドを作成したり、イベントの分析を行ったりなどと、自分たちの取り組みの証拠を残すための工夫を多く見つけることができます。詳しい活動については4月号をチェックしてみてください。



対面式司会 & 各部活動紹介



4月8日（月）、新1年生に部活を紹介する対面式が行われました。
IB生にとってこういった行事はCAS活動をするのにとってつけです。

例えば、私たちのクラスメイトで対面式の司会を務めた生徒がいます。その生徒は放送局のアナウンス部に所属しており、対面式当日に向けて台本の読み込みや滑舌練習をCASの活動として行っていました。

本番では、失敗したところやうまくいったところを台本に書き込み、後から振り返りできるように工夫して進めていたそうです。

また、英会話部や図書局の紹介では私たちのクラスから数人が発表し、クイズなどで全校生徒を楽しませていました。こういった発表に向けた準備や練習も、CASとして行うことができます。



宿泊研修



4月22日（月）、23日（火）にシャトレーゼ ガトーキングダム サッポロで一年生の宿泊研修が行われ、IBコースからは一年生8名が参加しました。

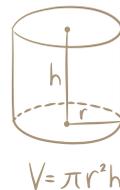
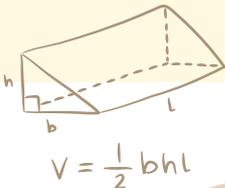
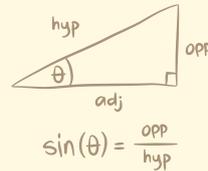
一年生は探究学習として、クラスの垣根を超えたグループで、ダコタアクセスパイプラインに関しての解決策を話し合い、問題解決に取り組みました。

また、インタビューをした一年生からは、探究活動だけでなく、「アイスブレイクで全員で指相撲をしたのが楽しかった。」や「自由時間にクラスでプロポーズゲームをしたのが楽しかった。」「みんなで食べたバイキングが美味しかった。」などの声がありました。

一年生は宿泊研修を通して、問題解決能力とコミュニケーション力の向上に務めました。

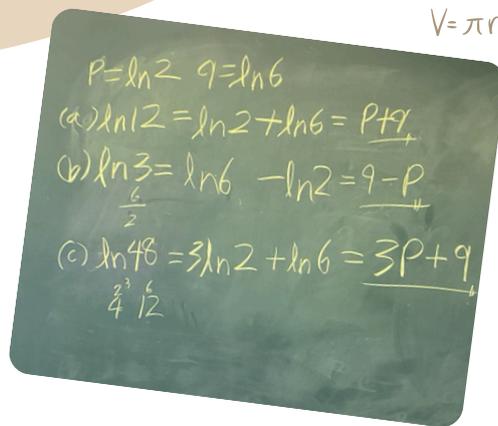
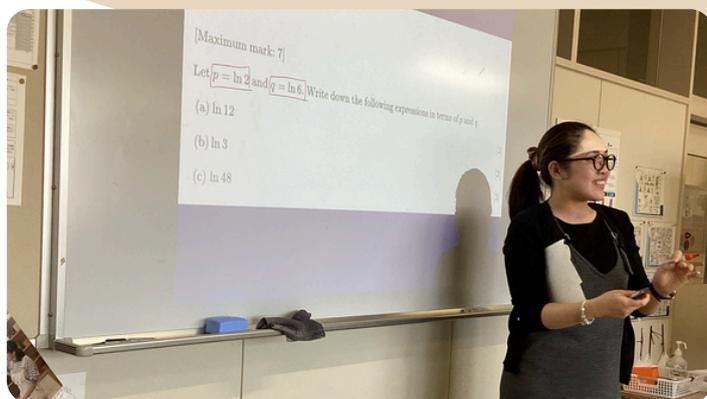
$$d = \sqrt{(x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2}$$

授業紹介：数学編



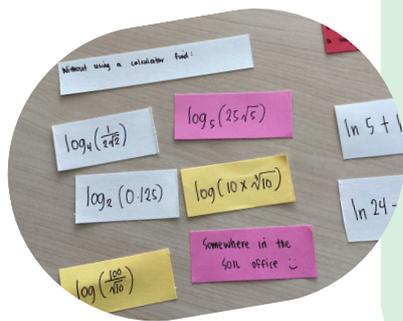
IB 二期生の私たちは主に廣重先生とヴィーナス先生が授業をしてくださっています。本校の IB では 数学の学習言語を、Japanese と English の二つに分けています。文系選択の人は基本 Japanese ですが、English の Math を選択することもできます。理系選択の人は English です。

授業の進め方は基本的に、廣重先生が作ったスライドをもとに進めていきます。ただ、ほかのコースとは違い、ペアやグループで一緒に問題を解いたり、黒板やホワイトボードを使い問題の解き方を説明したりします。また、問題によっては計算機を使い問題を解くことができます。これは本番のIBの試験でも同じです。本番では公式集を見ることができるとも IB Math の特徴です。すべての公式ではありませんが大抵の公式は覚えなくても公式集を見て解くことができます。



授業によってはログリズム・トレジャー・ハントのようなゲームをすることがあります。これは、学校全体を使い問題がある場所に進み問題を解き、そこに入っているヒントをもとに次の問題があるところに進む。というゲームです。チーム戦で戦い、互いに教えあいながら取り組んでいました。こういう風に問題を楽しんで解けるように先生方はたくさんの工夫をしてくださります。

IB の Math は日本の進め方と大変違い慣れるのに時間がかかるかもしれません。ですが、数学が好きな人にとっては深く学べる教科だと思います。また、数学が苦手な人でも先生方がたくさん楽しい授業をしてくださるおかげで嫌いにならず楽しんで授業を行うことができます。ぜひ、そんな IB の Math を体験してみてください。



Information

生徒作成
札幌日大高校 国際バカロレアコース
専用ホームページ↓



札幌日大IBコース お問い合わせフォーム
ibig.snu@gmail.com

オープンキャンパス開催日

6月 1日	7月20日
8月24日	9月21日
11月30日	12月 7日

申し込みは、本校ホームページ「受験をお考えの方」
→学校説明会→オープンキャンパスから